

AOI通信109号の「学芸員雑記」では、静岡音楽館AOIが所有する一番大きな楽器 パイプオルガンのくみについて紹介しました。みなさまご覧いただけましたでしょうか。今回は第2弾として、AOIのパイプオルガンが誕生するまでをお話していこうと思います。

AOIのパイプオルガンは、フランス・アルザス地方のストラスブールにあるオルガン工房 アルフレッド・ケルン社で製作、仮組みを開始しました。モーツアルトが「生涯弾いた中で最も素晴らしいオルガンだ!」と絶賛したサンニトマ教会のパイプオルガンがモデルとなっています。音は18世紀フランスの音色構造の美しさを再現し、ロマン派的な要素やドイツ的な要素も加えて演奏のレパートリーを拡大する工夫がされています。こうした工夫が施された3,000個を超えるオルガンのパーツは、ケルン社のオルガン建造者(ビルダー)であるダニエル・ケルンさんによって作られました。

出来上がったパーツは一旦仮組みから解体され、陸路でオランダのロッテルダム港へ運ばれました。そして1994年12月18日、それを乗せた船が出航しました。当初は兵庫県の神戸港に上陸した後に陸路で静岡に入る予定でしたが、年明け1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の影響で港が使えなくなり、1月23日に急遽清水港へ入港しました。

清水港に到着してから3日後の1月26日深夜から、静岡駅北口近くの道路を通行止めにし、27日未明にかけてオルガンのパーツがAOIへ搬入されました。エレベーターに入らないような長いパイプや大きな部品などは、トラックから大型のクレーンを使い、AOIの8階に作られたオルガン搬入の為の特別な扉からホールの中に入り搬入されました。搬入が完了した1月27日から2月7日までの10日間、ストラスブールから静岡に来たケルンさんと5人の弟子たちが朝早くから夜遅くまで組み立

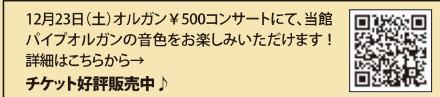
て作業を行い、オルガンの外観を完成させました。そして翌2月8日からはケルンさんとその右腕、ジャン・ベルナル・ディートリッヒさんが30日以上にわたり整音作業(※)を行い、3月20日にオルガン建造の工程が全て終了しました。

AOIのパイプオルガンがお客様の前で初めて演奏されたのは、オルガンが完成してから約1ヶ月後の1995年4月15日。AOI開館1ヶ月前のプレコンサートです。演奏者は世界的な音楽家の鈴木雅明さんでした。そしてAOIの開館から今まで、このパイプオルガンは様々な演奏会で弾かれ、静岡市民の皆さんをはじめ多くの方にその音色が愛されています。

※整音作業とは…パイプに吸き込む風の量やうた口を調整して、オルガンの音色や音量を整える作業です。この作業がないとオルガンの音が統一感のないバラバラな響きになるため、欠けてはいけないとても大事な作業です。整音作業を繰り返すうちにオルガンがホールに慣れて、パイプがよく響くようになります。



1995年1月24日
組み立て作業前のホールの様子



静岡音楽館AOIのSNSのご紹介です。

- コンサートのウラ情報
- AOI主催公演のご案内
- AOI主催公演のチケット販売状況
- など情報発信中!!



いいね! をして
最新情報を手に入れよう!

公演WEBアンケートについて

コンサートの際にお配りしているアンケートが、WEBからもご回答いただけるようになりました。各プログラムノートの裏表紙及び当日配布のアンケート用紙にQRコードを掲載しています。ぜひご協力ください。

静岡音楽館俱楽部 会員募集中!!

詳細は[こちら](#)から→



次のことを予めご了承の上、
チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力を
お願いいたします。

※価格は税込です。
※都合により内容を変更する場合があります。
※お客様のご都合によるチケット代の返金・座席の変更は受け付けてません。
※演奏中のご入場、および他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は強くお断りいたします。
※託児サービスはございません。

開場時の諸注意

※8階ホールへのエレベーターの進行は、開場時間以降となります。
※開場時は1階エレベーター前でお待ちの方を優先してご案内いたします。
※地上階から来場のお客様も、一旦1階にて列にお並びください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左



月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00~21:30開館

TEL 054-251-2200 静岡市葵区新町1丁目9番地の9

お問合せ

054-251-2200

静岡音楽館AOI

検索

AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌

SEP.2023 No.111

秋号

インタビュー 濱田芳通

(指揮／コルネット)
C.モンティヴェルディ
聖母マリアのタベの祈り

インタビュー 上野通明
(チェロ)
ライジング・スター 上野通明 無伴奏チェロ・リサイタル

インタビュー 藤本昭子
(三弦)
伝承の力 古典の現在 藤本昭子の地歌

静岡室内楽
Shizuoka Chamber Music Festival 2023
フェスティバル 2023



インタビュー 濱田芳通

(指揮／コルネット)



2023年12月9日(土)「C.モンテヴェルディ：聖母マリアのタベの祈り」にご出演いただく、濱田芳通さんにお話を伺いました。

今回演奏いただいた「聖母マリアのタベの祈り」(通称:ヴェスプロ)は、演奏時間が90分を超える大曲として知られています。今回のプログラムの魅力、聴きどころについて教えてください。

この《聖母マリアのタベの祈り》には、東欧の民族音楽からコラントまで、当時の考案得る限りの音楽的アイディアが盛り込まれているところでしょうか。詩篇においては、グレゴリオ聖歌を素材にこんなにもゴージャスな音楽を書く人が後にも先にもいただうかとさえ感じます。宗教音楽でありながら、とてもなくバラエティ豊かな作品と言えるでしょう。

《聖母マリアのタベの祈り》は、当時、どのようなところで演奏されていたのでしょうか？

モンテヴェルディの最高傑作であるこの曲はローマ法皇パオロ五世への献呈文とともに1610年ヴェネツィアで出版されました。ローマ法王への献呈には、息子に便宜をはかつてもらいたいといったモンテヴェルディの思惑があったようですが、だからといって、彼がその目的のためだけにこの曲を作曲したということは考えにくいでしよう。やはりそれは、何らかの演奏機会のため、しかしそうなると、一体いつどこで演奏されたのか、このことについて想いを巡らせるることは、曲の一風変わったキャラクターについても考えることになるので有益なことかもしれません。私はこのいわゆる「初演」についての考察は、数ある仮説の中から音楽学者アン・フェンロン氏の見解を取っています。フェンロン氏はマントヴァ宮に付随する聖バーバラ教会での演奏の可能性を否定し、マントヴァでいちばん大きな教会、聖アンドレア教会での可能性を示唆しています。

1607年からモンテヴェルディの就職先であるゴンザーガ家では、フランチェスコ・ゴンザーガとサヴォイ家のマルゲリータの結婚祝典行事が自白押でした。特に1608年、花嫁が到着した5月24日から6月8日まではマントヴァ史上類を見ない大掛かりな行事が繰り広げられ、その皮切りとなったのが、5月24日に聖アンドレア教会で行われた「騎士叙任式」でした。そこでは「テ・テウム」に続いて莊厳な「晩課(タベの祈り)」が演奏されたとあり、(17世紀初頭はミサ曲よりも「晩課」のための音楽が数多く作曲された)この「タベの祈り」こそがモンテヴェルディの《聖母マリアのタベの祈り》なのではないかというのがフェンロン氏の考え方なのです。一連の式典で、

モンテヴェルディは他にも歌劇《アリアンナ》(5月28日)《情け知らずの女たちのパッロ》(6月4日)《イドローピカ》、いずれも詩人ヴァリニとの共同作業で音楽を提供しています。《聖母マリアのタベの祈り》と《アリアンナ》が続けて初演されたなんて、なんと夢のような祝宴だったことでしょう。《聖母マリアのタベの祈り》が持つ、宗教的な趣から少しそれぞれ華麗なイヴェント色の強い特徴にも納得がいきますし、モンテヴェルディこそ、その作り手としては最適任者であつただろうと思います。

濱田さんは、本作品を上演した回数が国内最多とお伺いしています。濱田さんとこの曲の出会いについてお聞かせください。

中学生の時に私の父が「ムチャクチャいい曲だぞ！昔マタチッチ指揮のN響で聴いたけど」と言って、往年のヴァルター・デルヴィッヒ版のスコアをくれました。その後私も見事にこの曲にはまってしまい、ミシェル・コレボやハンス＝マルティン・シュナイト指揮の《聖母マリアのタベの祈り》の録音を聴きまくっていました。中学校の友達にも推薦するべく、先生に頼んで、講堂で鑑賞会を開いてもらつたこともあります。

すばり、濱田さんにとってC.モンテヴェルディとはどのような作曲家なのでしょうか。

特に、私にとっての古楽体験はモンテヴェルディを里斯ベクトするところから始まったといつても過言ではありません。モンテヴェルディは常に先進的でインパクトのある音楽を追い求めて行くタイプの音楽家で、ときには自己のスタイルをも過去のものとして躊躇らしくて行くところは、私の中のもう一人のアイドル、マイルス・デイヴィスのようです。

このような古楽の演奏会では「古楽器(ピリオド楽器)」と呼ばれる、現在の楽器とは異なる楽器が登場します。《聖母マリアのタベの祈り》ではどのような楽器が使われますか？

ハッハの時代の古楽器よりも更に古いかたちの楽器を使用します。モンテヴェルディ自身が1610年の出版譜の中で指定している楽器は次の通りです。

Violino da brazzo (ヴァイオリン)
Viola da brazzo (ヴィオラ・チェロ)
Contrabasso da gamba (ヴィオローネ)
Cornetto (コルネット)
Trombone (サクバット)
Trombone doppio (バス・サクバット)
Fifara (フルート)
Pifara (ショーム)
Flauto (リコーダー)
Organo (オルガン)

さらに今回は以下の楽器を加えます。

Tiorba (オルボ)
Arpa doppia (トリプレ・ハープ)

コンサートご来場の際には、ぜひ楽器にも注目していただきたいですね。どうぞ、お楽しみに！



C.モンテヴェルディ
聖母マリアのタベの祈り
12/9 土

22歳以下
¥1,000
15:00 開演(14:15 開場) *17:15 終演予定
全指定 ¥5,000 (静岡音楽振興会員 ¥4,500)
[Pコード=224-472]

出 演
濱田芳通(指揮／コルネット)
鈴木美登里、中山美紀、中川詩歩、陣内麻友美(ソプラノ)
新田仕人、野間愛(アルト)
小沼俊太郎、田尻健、前田啓光(テノール)
松井永太郎、谷本基喜(バス)

アンサンブル(管弦楽)
天野秀彦、阪永珠水(バリオック・ヴァイオリン)、丹沢広樹(バリオック・ヴァイオラ)
武澤秀平(バリオック・チロ)、布施砂丘彦(ヴァイオローズ)
細川洋介、寺丸幸代(コルネット)、南悠平、野村美樹、生稻雅威(サクバット)
高木一郎(リュート)、伊藤美恵(バリオック・ハープ)、上羽剛史(オルガン)



インタビュー 上野通明

(チエロ)

© Anne Laure-Lechat

ライジング・スター 上野通明 無伴奏チェロ・リサイタル

2024

1/13 土

22歳以下
¥1,000

15:00 開演(14:15 開場)
全指定 ¥3,000(静岡音楽館俱楽部会員 ¥2,700)

[Pコード=224-470]

曲 目
J.S./バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番 /ハ長調 BWV1009
M.レーガー：無伴奏チェロ組曲第2番 二地頃 op.131c-2
J.ダッラー/バ：11の奇想曲より 第11番 /ヘ長調
B.プリテン：無伴奏チェロ組曲第3番 op.87

2024年1月13日(土)「上野通明 無伴奏チェロ・リサイタル」にご出演いただく、上野通明さんにお話を伺いました。

上野さんがチェロを始めたきっかけを教えてください。

幼い頃からいつも鼻歌を歌っていたくらい歌が好きで、ヨーヨー・マの『Inspired by Bach』というビデオを観てチェロの深い音色に憧れ、どうしてもチェロが弾きたいと1年間親に頼みこんで始めさせてもらいました。

プロの演奏家になろうと決意をされたのはいつごろでしょうか。

何か特別なことがあってその時以来、という覚えはなく、幼いころから人に演奏を聴いてもらうのがとても好きで、小学校を卒業する頃には、将来、世界中の人々に自分の演奏聴いてほしいと思うようになっていました。

2021年にはジュネーヴ国際音楽コンクールのチェロ部門で日本人初の優勝をされました。コンクール前と後で音楽面や私生活において変化したことはありましたか。

元来あまり自分を肯定できない性分なのですが、ほんの少し自信のようなものを持てました。そして国内外を問わず演奏のチャンスや素晴らしいアーティスト、オーケストラとの共演が増え、沢山の経験を積ませていただけていることに感謝の気持ちで一杯です。

上野さんのこれまでのご活躍を拝見しますと、幅広い時代の作曲家の楽曲を演奏されていらっしゃいますが、上野さんが特に好きな作曲家はどなたでしょうか。またその理由もお聞かせください。

作品に向かうとどの作曲家もそれぞれ人間的な魅力に溢れていて好きになってしまい難しいですが、あえて言えば自分がチェロを始めるきっかけとなつたバッハは、時代を超えた魅力があり僕にとって特別な作曲家と言えるかもしれません。

昨年の10月にCD『J.S./バッハ：無伴奏チェロ組曲(全曲)』をリリースされましたが、数多くのレパートリーの中から、この作品を選ばれた理由をお聞かせください。

バッハの無伴奏チェロ組曲を聴いてチェロに目覚めた僕にとって、全曲録音はずっと持ち続けていた夢でした。そもそも録音の経験がほとんどない自分にとっては尚更大変な挑戦でしたが、ドイツの素晴らしい響きの教会で録音できて、本当に嬉かったです。

今回のプログラムの聴きどころをご紹介ください。

一般的に無伴奏チェロ・リサイタルのプログラムというとレパートリーはバロックから現代曲に偏りがちなのですが、今回はあまり演奏されないロマン派の時代を生きたレーガーの作品も取り入れてみましたので、スタイルや曲想が豊富なプログラムになったかと思います。プリテンもですが、無伴奏チェロ作品を書くとき、バッハから始まり、他の作曲家がどのようにそれから影響を受けつつ自身のスタイルを確立しているのか、楽しんで聴いていただけたら幸いです。

最後に、お客様に向けてメッセージをお願いいたします。

静岡音楽館AOIでは初めての演奏会となります。チェロ一本で大好きな作品を集めたプログラムを皆さんに聴いていただくのをとても楽しみにしています。バッハからプリテンまで時代を超えてそれぞれの作品の魅力を存分に味わって、楽しんでいただけたら嬉しいです!



上野通明「J.S./バッハ：無伴奏チェロ組曲(全曲)」
La Dolce Voltaより好評販売中!

インタビュー 藤本昭子

(三弦)

2024年1月27日(土)「伝承の力 古典の現在 藤本昭子の地歌」にご出
演いただく、藤本昭子さんにお話を伺いました。

静岡音楽館AOIで古典地歌の生演奏を聴けること、大変楽しみにしており
ます。お客様のなかには「地歌」を初めてお聴きになる方もいらっしゃ
ると思います。まずは、地歌について教えていただけますでしょうか。

地歌は、江戸時代に上方(大阪・京都)を中心に発祥した三味線歌曲
です。三味線音楽の中では日本最古となります。盲人の職業演奏家・作曲
家である検校(けんぎょう)、勾当(こうとう)等によって大切に伝承され、や
がて各地に広がりました。江戸で流行っていた歌舞伎の伴奏音楽の長
唄などを江戸唄と言い、それに対する地(地元=上方)の歌で地歌と言
います。本来は三弦(地歌における三味線の呼称)を弾き歌う音楽ですが、
やがて箏(こと)や胡弓(こと)の演奏家と合奏も行われるようになり、明治
以後は、三弦・箏・尺八の三曲合奏で演奏されるようになりました。

伝承が不可欠な伝統芸能である地歌ですが、藤本さんご自身は祖母
君やお母さまに手ほどきを受けてござれたとお伺いしました。どのよう
な幼少時代を過ごされましたか?

お稽古や舞台で留守がちな母に代わり、祖母がお稽古をしてくれる
ことが多かったのですが、そのお稽古は熱血で、お箏をひっくり返したり、
撥(ばち)が飛んで来たりと大激しく厳しいものでした。歌の繊細な節回しや、三味線の余韻や響きが存分に効いた奏法など舞台で演
奏する通りに歌って弾いて、本当に丁寧に教えてくれました。また、母も
とても厳しく、3回弾いてその通り出来なければ先に進んでもらえない
と言うお稽古でした。弾けるまでずっと稽古場でひとり弾かされていた
記憶があります。

藤本さんは九州系地歌筆曲の演奏家でいらっしゃいますが、九州系地
歌にはどのような特色があるのでしょうか。

九州系地歌の芸祖と言われる長谷幸輝検校が、楽器、駄、駄などの
改良を手がけ、上品な色艶の加わった味わい深い音色を追求し、同時
に発声や歌唱法にも繊細な魅力を取り入れ、全国に広く伝えました。

今回は鶴澤津賀寿さん(女流義太夫三味線方人間国宝)、岡村慎太郎
さん、藤原道山さんの錚々たるメンバーをお招きしての公演となります。
御三方のご紹介をお願いします。

鶴澤津賀寿さんは、昨年入間国宝に認定され、文字通り女流義太夫
三味線方の最高峰でいらっしゃいます。4年前に古典の新たな創造を目
指し、高橋翠秋さん(胡弓)、善養寺恵介さん(尺八)と共に4人で結成し
た「SATZ」のメンバーで、公私ともにお世話になっています。岡村慎太
郎さんは、私の主催する演奏会にも何度もご出演頂いていて、古典の

演奏家として大変信頼する方です。藤原道山さんも、何度もご助演頂い
ています。古典曲は勿論、新曲や現代邦楽、あらゆるジャンルでご活躍
です。岡村さんと藤原さんは藝大の同級生で、大変仲良しです。

今回の演目の聴きどころを教えてください。

オープニングは華やかに箏、三弦、尺八の三曲合奏で「尾上の松」
を。2曲目は、しっとりと三弦の独奏で「影法師」を。3曲目には、太棹三
味線と地歌三味線の異色のコラボで「出口の柳」を。そして終曲には、
ご祝儀曲の代表作、大曲「根曳の松」を再び息の合った三曲合奏で締
めくります。歌の魅力と三弦の響、箏、尺八との合奏の妙味を存分に
お届けしたいと存じます。

お客様へメッセージをお願いいたします。

現代においても色褪せることのない古典ならではの魅力を支える
「伝承の力」とこれから未来に向かう指標となり座標ともなる「古典の
現在(いま)」、この二つをテーマとして、今に生きる古典の魅力を深く追
求し、地歌筆曲の未来を少しでも明るくすることを願っております。

伝承の力 古典の現在 藤本昭子の地歌

2024
1/27 土

22歳以下
¥1,000

15:00 開演(14:15 開場)
全指定 ¥3,500(静岡音楽館俱楽部会員 ¥3,150)

[Pコード=224-478]

出 演
藤本昭子(三弦)、鶴澤津賀寿(義太夫三味線)
岡村慎太郎(箏)、藤原道山(尺八)

演 曲
尾上の松、影法師、出口の柳、根曳の松



静岡室内楽 フェスティバル2023

Shizuoka Chamber Music Festival 2023



東アジア文化都市
2023 静岡県

静岡の秋は、いろんなところで室内楽
Music for hearts

2023 9/3日 ▶ 11/23 木

[主催] 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

静岡音楽館AOI CONCERT SERIES 2023-24

新生 ジャパン・ギター・カルテット A CONCERT SERIES 2023-24

10/14 [土] 15:00 開演 (14:15 開場)

全指定料 ¥4,000 [Pコード: 224-468]

(静岡音楽館会員 ¥3,600、22歳以下 ¥1,000)

*未就学児は入場いただけません。

出演 / ジャパン・ギター・カルテット

[福田進一、鈴木大介、大森康司、村治奏一(ギター)]



AOI・レジデンス・クワルテット & 小暮浩史(ギター) A

CONCERT SERIES 2023-4

11/11 [土] 18:00 開演 (17:15 開場)

全指定料 ¥3,500

[Pコード: 224-470]

(静岡音楽館会員 ¥3,150、22歳以下 ¥1,000)

*未就学児は入場いただけません。



出演 / AOI・レジデンス・クワルテット
[松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)
[今井嘉子(ヴァイオラ)、河野文昭(チェロ)
小暮浩史(ギター)]

曲目 / L.ボッケリーニ : ギターアンサンブル曲第4番『ファンダンゴ』ニ長調 G448
第7番 ホ短調 G451

B.バルトーク : 弦楽四重奏曲第5番 Sz.102

関連事業
会場 / 静岡音楽館AOI 振興組合 無料(事前申込)
講演会「AOI・レジデンス・クワルテット」公演に寄せて
11/11(土) 16:00~17:30
講師: 平野昭(音楽家)

講演会「この1曲をとことん語る」
L.ボッケリーニ : ギターアンサンブル曲第4番『ファンダンゴ』ニ長調 G448
10/20(金) 19:00~20:30
講師: 小林旬(静岡音楽館AOI 学芸員)

第13回 アマチュア・アンサンブルの日♪ A

CONCERT SERIES 2023-4

11/23 [木・祝] 12:00 開演 (11:30 開場) *18:30 終演予定

全自由、無料(申込不要) *未就学児に限り入場をお断りする場合があります。*未就学児もご入場いただけます。

第1部 12:00 開演
[MUSIC MARU] 14:00 終演
(通常会合) リードアーダンソングループ(つくづくらし)(リードアーダンソングループ) リコーターアーダンソングループ

Taki Family(金管アーダンソングループ)、はななリブース(金管三重奏)、アンサンブル「ヒロ」(ロゴーン四重奏)、ブラスアンサンブル静岡(管弦アンサンブル)、プラスティーナ(金管アンサンブル)

Duo モーテ・フロル(フルート・キーボード)、ミチコ&ヨコ(ピアノ二重奏)、尺八Loveの会、ギターアンサンブル サウンド・オーフィーム、kimie&maco(フルート・ビオラ)、N&N(ヴァイオリン・ビオラ)、アーランド・フィル・オーケストラ(ヴァイオリン・ビオラ)、Tomy Quartet(リコーダー・テューバ・ピアノ)、Trio Pont de Cerisier(フルート・サックス・ピアノ)、CHIELE☆MIKAKO(2台ピアノ)

*組合により出演団体の変更がございました。



STRINGS
Trio Pont de Cerisier
撮影: 日高真光

子どものためのコンサート 0歳児からのファミリー・コンサート Vol.8 A 完売

CONCERT SERIES 2023-4

10/28 [土] 10:30 開演 (9:45 開場) *11:30 終演予定

全自由料 ¥300 (静岡音楽館会員割引はありません)

定員300名(1階席のみ)

出演 / 静岡県立中学校・高等学校 楽器演奏部

曲目 / 田中公平 : ウィーアー!(アニメ「ハッピーストレス」より)

M.マリナジエ : ジャンボリミキィ!

馬飼野康二 : アンパンマンたいそう ほか

*未就学児もご入場いただけます。(チケットが必要です)。

*16歳以上の方のみのご入場はできません。

*このコンサートには休憩があります。



会場のご案内

A 静岡音楽館AOI

静岡市葵区黒金1号
静岡県コンベンションアーツセンター
グラニシップ
静岡市葵区東静岡2丁目3-1

C 静岡市民文化会館

静岡市葵区駿府町2-90
(公財)静岡市文化振興財団

D 新静岡セノバ

静岡市葵区駿府1丁目1-1

E かけこまち七間町

静岡市葵区七間町5-8 (マイエ七間町1階)
JR東海道本線
静岡駅

F 清水駅前銀座商店街

振興組合
静岡市清水区真砂町5-22

G エスパルスドリームプラザ

静岡市清水区入船町13-15

H 本通り

七間町通り
御幸町通り
北街道
国道1号線
SBS通り
国道150号線



駿河湾

ドリプラ・クラシック・コンサート G

DREAM PLAZA CLASSIC CONCERT
10/29 [日] 14:00 開演

会場 / エスパルスドリームプラザ
エスパルススクエア(1階)

入場無料(申込不要)

出演 / 駿河美空交響楽団より
高橋早紀(オーボエ)、渡辺繁弥(クラリネット)、東実奈(ファゴット)

曲目 / 久石譲 : 人生のメリーゴーランド(映画「ハウルの動く城」より)
アイシング・グリース
L.ショーマ : 5つの小品 op.3 第3、4、5曲

E.サティ : ジ・トゥ・ヴ(おまえが欲しい)

E.エルガー : 愛のあいさつ op.12

ミッキーマウス・マーチ変奏曲



本と音楽の素敵な出会い ラブカは静かに弓を持つ B

10/15 [日] 14:00 開演 (13:30 開場)

会場 / 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
エスパルスドリームプラザ

一般 ¥3,800、こども・学生¥1,000

出演 / 安塚美穂(作詞)、横坂源(チェロ)、久俊彦(ピアノ)

曲目 / J.S.バッハ : 無伴奏チェロ組曲
第1番 -長調 BWV1007より
(プレリュード) ほか

[主催] (公財)静岡県文化振興財団、静岡県
[共催] エスパルスドリームプラザ

グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000



静フィル団員による室内楽コンサート C

11/18 [土] 13:30 開演 (13:00 開場)

会場 / 静岡市民文化会館 大会議室(ロビー横3階)

全自由 入場無料

10/14 (土) 10:00より電話で静岡市民文化会館へ申込(先着順)

出演 / 静岡フィルハーモニー管弦楽団より
つま恋クリンティッフ

[萩原奈緒子(オーボエ)、内山富成(クラリネット)、菅野美穂(ヴァイオリン)、]

[杉山有紀子(ヴァイオラ)、進士広行(コントラバス)]

曲目 / 久石譲 : 人生のメリーゴーランド(映画「ハウルの動く城」より)

馬飼野康二 : 勇気100% (アニメ「忍たま乱太郎」より) ほか

[主催] 静岡市民文化会館 佐藤寛樹 植木文化芸術財团理事長

TEL.054-251-3751



まちかどコンサート E

10/10 [火] 15:30~16:10

会場 / かけこまち七間町

F

11/11 [土] 12:20~13:00

会場 / 清水駅前銀座商店街振興組合

G

10/22 [日] 14:00~14:30

会場 / 新静岡セノバ1階けやき通り口

出演 / 静岡フィルハーモニー管弦楽団より

BBBC

[倉内富成(クラリネット)]

[系賀拓也・原田雅樹(ファゴット)]

[進士広行(コントラバス)]

曲目 / ハバヘルベルル : カノン

A.ビアソラ : リベルタンゴ ほか

[企画・制作:お附合せ]

(公財)静岡市文化振興財団

TEL.054-255-4746



子どものためのコンサート 0歳児からのファミリー・コンサート Vol.8 A 完売

10/28 [土] 10:30 開演 (9:45 開場) *11:30 終演予定

全自由料 ¥300 (静岡音楽館会員割引はありません)

定員300名(1階席のみ)

出演 / 静岡県立中学校・高等学校 楽器演奏部

曲目 / 田中公平 : ウィーアー!(アニメ「ハッピーストレス」より)

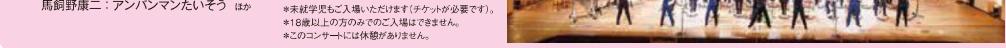
M.マリナジエ : ジャンボリミキィ!

馬飼野康二 : アンパンマンたいそう ほか

*未就学児もご入場いただけます。(チケットが必要です)。

*16歳以上の方のみのご入場はできません。

*このコンサートには休憩があります。



静岡・室内楽フェスティバルは Facebookでも情報発信中! →

